



# 大森六中だより

令和6年 4月号  
大田区立大森第六中学校  
統括校長 菅野 哲郎  
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも  
ご覧いただけます。



## 使命を自覚しよう

### 始業式

4月8日(月)の始業式では春休み前と変わらぬ生徒の姿に感謝を伝えました。そして、新年度を迎えるにあたり3月25日の修了式で講話した内容を振り返りました。

まず、「気品」のある姿として挨拶とドレスコードを振り返りました。学校生活では「式」と付く行事があります。これは日常生活の結婚式やお葬式と同じくドレスコードがあります。本校では原則として、1学期の終業式と2学期の始業式以外は冬の標準服です。スラックスの場合はワイシャツにネクタイと上着を着用します。スカートの場合はブラウスにベストと上着を着用します。

次に、「実力」を付けるためには目的意識をもつことを振り返りました。自分の果たすべき使命とも言えますが、それを見つけるために実体験として得られる情報には限りがあります。それを補うものが読書です。そこで終業式では春休み中の読書を勧めました。始業式では私がこの春休みに読んだ本の中から池波正太郎さんの「堀部安兵衛」を紹介しました。高田の馬場の決闘や赤穂浪士で有名な安兵衛の34年の生涯を著した本です。この本をとおして、人から支えられ、人との縁を大切にすることで、短くとも本懐を遂げる姿に感動したことを伝え

ました。

最後に「健康」についての振り返りです。何をするにも心身が健康でなければ、身に着かず、何事も成しえません。健康のためには、基本的な生活習慣が大切です。基本的な生活習慣とは、主に睡眠と食事と運動です。このリズムを習慣化させることが大切です。長期休業中はこのリズムが乱れがちになります。そこで、終業式に伝えました。果たして、どうだったのでしょうか。始業式の朝、校門で挨拶を交わしたときに変わらぬ姿を見た限りでは、しっかりと過ごせたように思います。

### 入学式

4月9日(火)、桜の開花が例年より遅く、多くの花が咲き誇っていましたが、あいにくの春の嵐の中、入学式を挙行了しました。今年度は多くのご来賓にご臨席いただき、全校生徒と新入生保護者の方々を一堂に会することができました。

この日、120名の新入生を迎え、2年生121名、3年生132名、計373名でスタートすることとなりました。

式辞では、人に何かを貰うことよりも、人に何かを与えることを常に考える人に。身に付けた知識・技能を、地域や社会に役立てる人に。かけがえないあなた自身を大切にすることになるよう期待する旨を伝えました。

## 第78回 入学式

4月9日（火）、4クラス120名の新入生が本校に入学しました。温かい拍手で迎えられ新入生が体育館へ入場し、厳かな雰囲気の中で入学式が執り行われました。緊張した様子の新入生たちでしたが、呼名には元気のよい声で返事をし、中学校生活への期待や意気込みが感じられました。充実した学校生活となることを願います。



## クラス開き

中学校生活がスタート！緊張した面持ちで担任の話を聞く1年生。自己紹介では希望する部活や趣味、特技などを発表し、校内見学ツアーで各施設の説明を受けました。学校が始まって1週間、少しずつ学校生活に慣れてきた様子で、徐々に友達の輪が広がってきています。



# 新入生歓迎式

4月11日(木)の5校時に新入生歓迎式が行われました。新入生に一日も早く六中に慣れてもらおうと、生徒会役員が時間をかけて準備をしてきました。式は新入生の入場で始まり、六中の取り組みや施設、委員会、中学生らしい行動などが、実演、動画を交えて分かりやすく紹介されました。

最後に、花鉢の贈呈や「平和の歌」の披露が行われ、先輩たちのおもてなしの気持ちと、六中のホスピタリティが感じられる会となりました。



# 部活動説明会

新入生歓迎式同日の6校時、1年生に向け2、3年生が部活動の紹介を行いました。部長会代表による入部や活動時の心得の説明後に、各部活の個性豊かな紹介が行われました。限られた時間の中ではありましたが、実演や寸劇を取り入れるなど工夫を凝らした紹介に、笑いあり、拍手ありの説明会となりました。12日から早速仮入部が始まります。

